

## 総合機能試験

- 点検を行ってきた燃料取扱設備について、各設備の作動状態や燃料処理・貯蔵に関する一連の自動運転が問題なく進行することを確認する。
- 操作は機構の職員（設備担当課員）が実施。
  
- 試験項目
  - ・「使用済燃料取扱試験」  
燃料出入機本体Aにより、炉外燃料貯蔵槽に保管中の模擬燃料体の吊り上げ等を行う。
  - ・「缶詰処理運転確認試験」  
自動運転にて、炉外燃料貯蔵槽に保管中の使用済制御棒を洗浄し、缶詰缶に収納した後、燃料池に移送、貯蔵する。
  - ・「缶詰・新燃料移送運転確認試験」  
自動運転にて、以下の2つの運転を並行して行う。
    - ✓ 炉外燃料貯蔵槽に保管中の使用済制御棒を洗浄し、缶詰缶に収納した後、燃料池に移送、貯蔵する。
    - ✓ 新燃料貯蔵ラックに保管中の模擬燃料体を、炉外燃料貯蔵槽に移送、貯蔵する。
  
- 実施日  
7月13日から実施

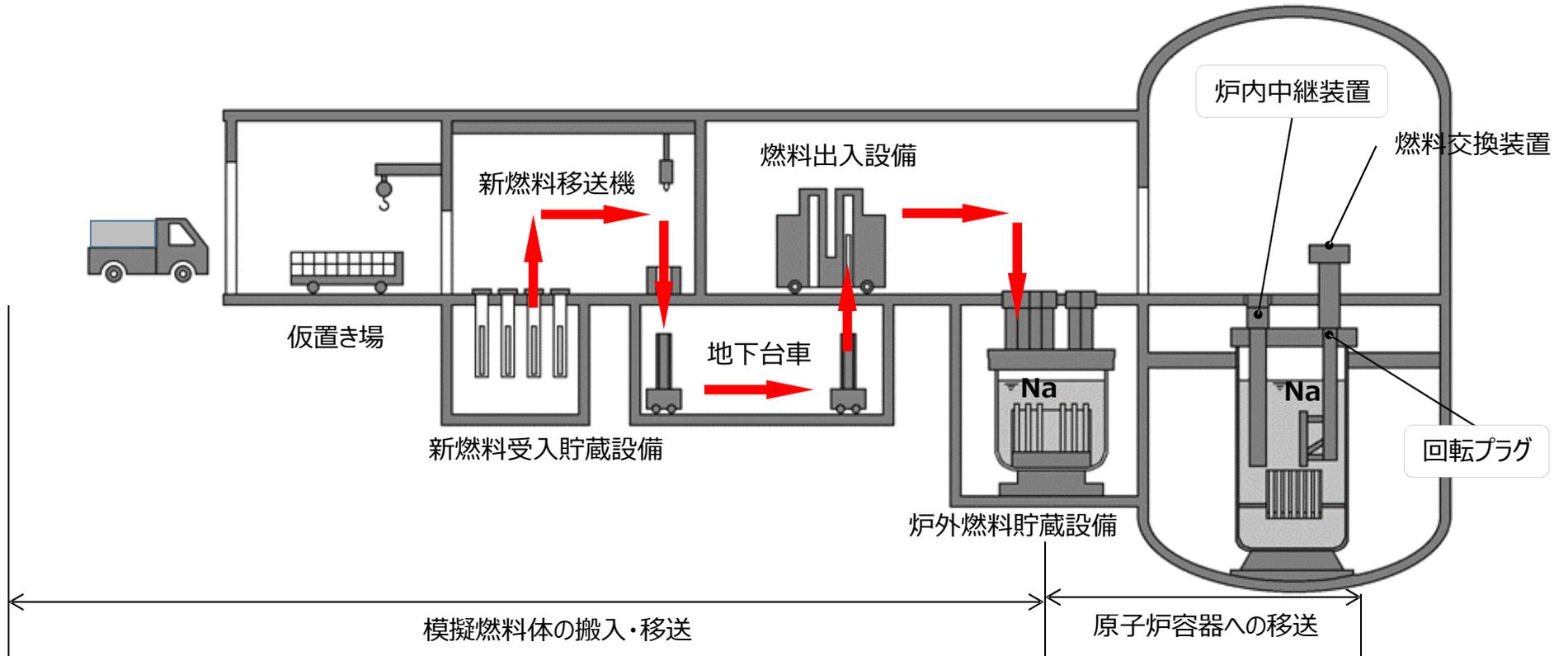
## 模擬体移送模擬訓練

### ○訓練内容

- ・模擬燃料体を新燃料受入貯蔵設備から炉外燃料貯蔵槽（EVST）へ移送。

### ○実施時期

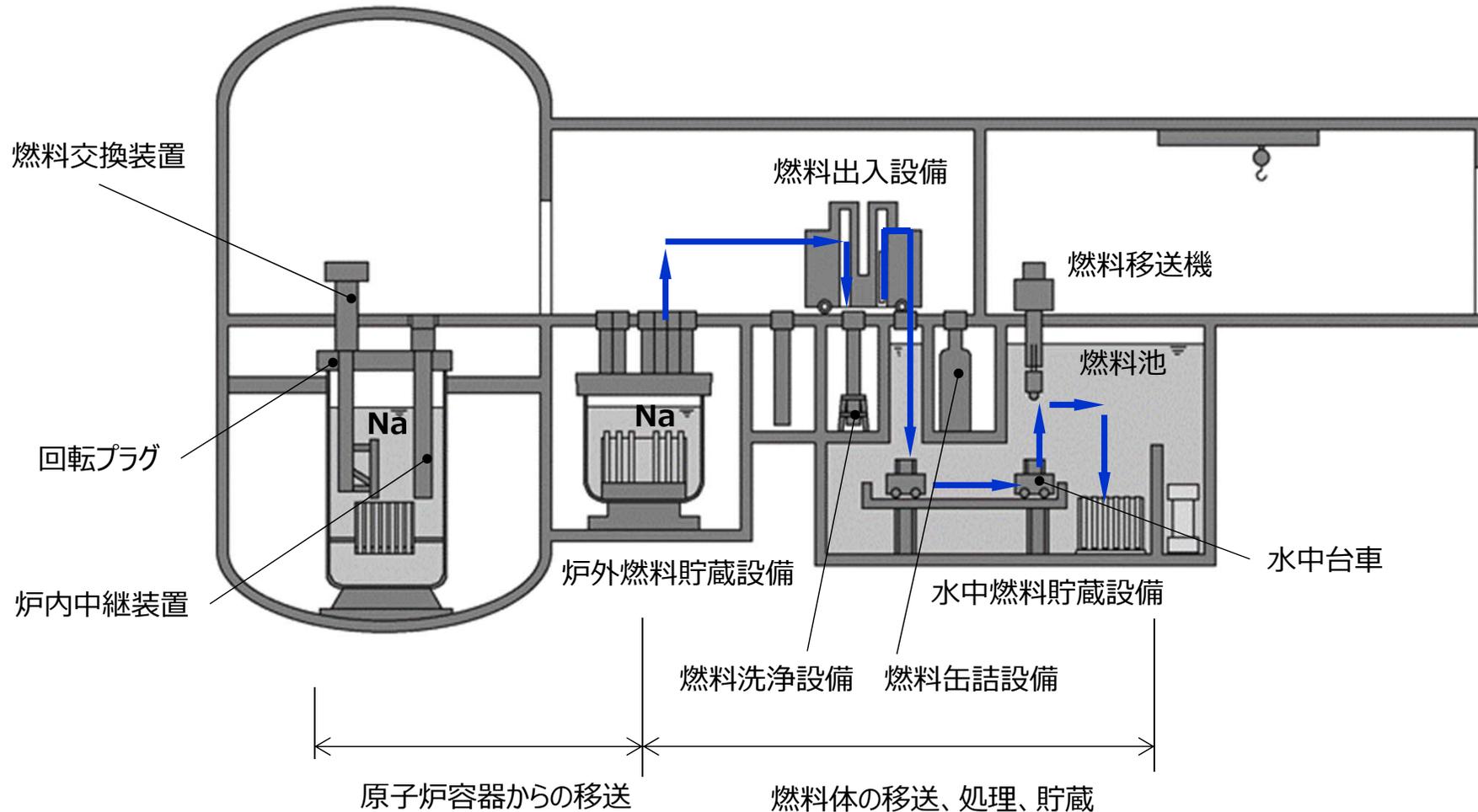
総合機能試験終了後に実施予定



なお、模擬燃料体は、第1段階の模擬訓練（6月19日～6月21日）において、仮置き場から新燃料受入貯蔵設備へ移送したものを使用

## 燃料処理貯蔵模擬訓練

- 訓練内容  
炉外燃料貯蔵槽内の制御棒を、燃料洗浄設備で洗浄し、缶詰缶へ収納した後、燃料池へ移送・貯蔵
- 実施時期  
総合機能試験終了後に実施予定



訓練名	訓練内容	実績、予定
手順確認	模擬訓練実施前に、実機操作盤を用いて手順を確認（空操作）する。	<b>【実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 模擬体搬入 : 6月11日～6月13日</li> <li>• 燃料処理貯蔵 : 7月2日～7月4日</li> <li>• 模擬体移送 : 7月2日～7月4日</li> </ul>
模擬訓練	使用済制御棒、模擬燃料体を実機操作盤（主制御監視盤/補助盤）を用いて実際に移送する。	<b>【実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 模擬体搬入 : 6月19日～6月21日</li> </ul> <b>【予定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 燃料処理貯蔵 : 総合機能試験終了後に実施予定</li> <li>• 模擬体移送 : 総合機能試験終了後に実施予定</li> </ul>
図上訓練	燃料体取出し作業時に警報（トラブル）が発生した場合を想定し、原因の特定、トラブル収束に向けた対応を机上で行う。また、現状のプラント状態において想定される事故内容（事故発生時の影響を含む。）等を確認する。	<b>【実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 警報（トラブル）時の対応訓練 : 6月26日～6月28日</li> <li>• 事故内容の確認訓練 : 7月5日～7月6日</li> </ul>
トラブル対応 総合訓練	敦賀廃止措置実証本部を含め、現場組織と対外対応組織と連携した訓練を行う。	<b>【実績】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 6月28日</li> </ul>

注 模擬体搬入 : 模擬燃料体を新燃料受入貯蔵設備に移送  
 模擬体移送 : 模擬燃料体を新燃料受入貯蔵設備から炉外燃料貯蔵槽に移送  
 燃料処理貯蔵 : 使用済制御棒を炉外燃料貯蔵槽から取り出して、洗浄・缶詰し燃料池に移送